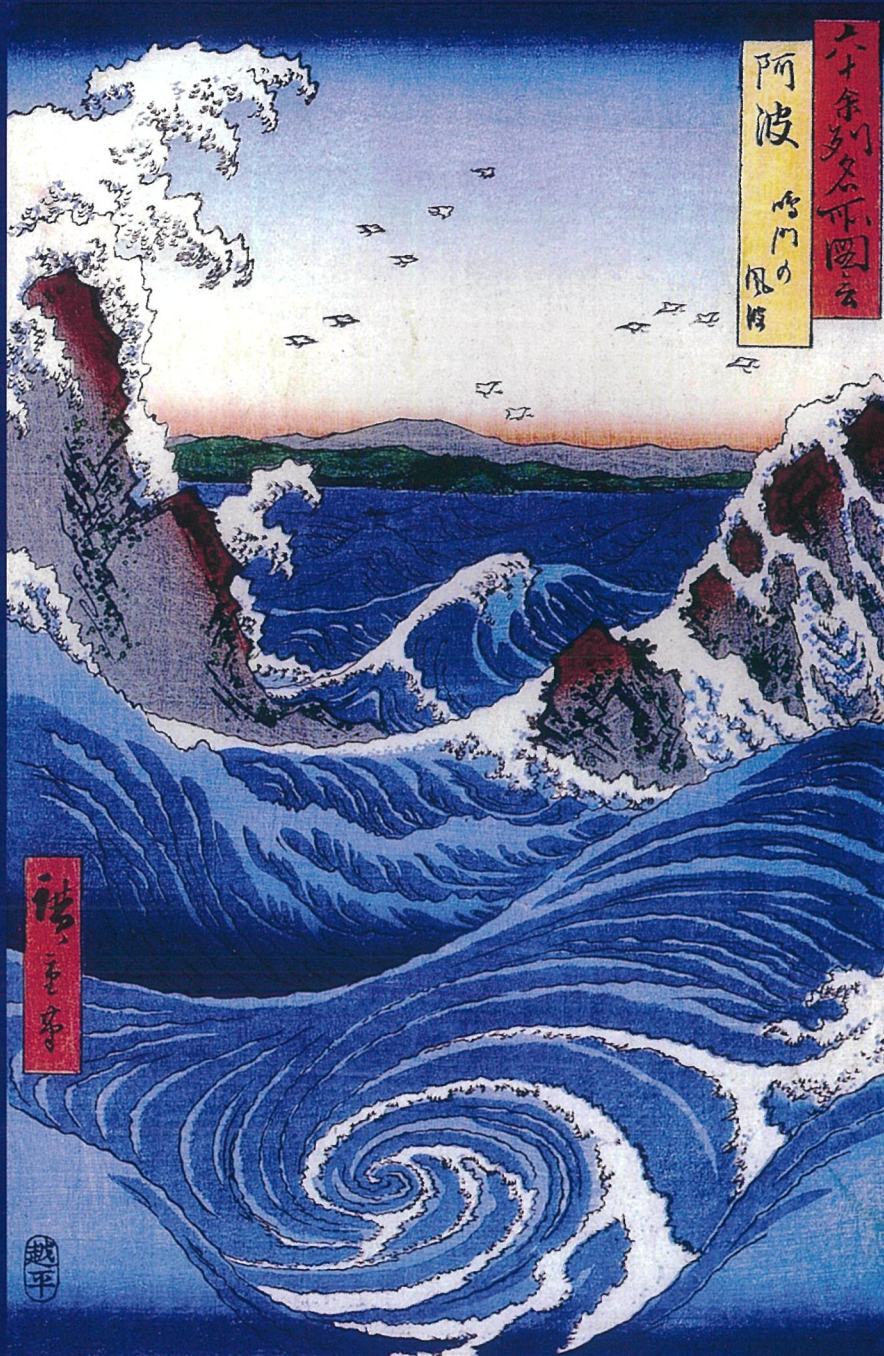


道徳科学研究フォーラム in 四国

# テーマ：継承の危機にどう立ち向かうか



お問い合わせ・申込先

公益財団法人モラロジー研究所四国出張所

〒768-0072 香川県観音寺市栄町2-5-5

TEL: 0875-57-5105

FAX: 0875-57-5115

E-mail: shikoku@moralogy.jp

開催日：令和元年9月22日（日）

会場：モラロジー研究所四国出張所

参加費：3,000円（昼食付）

主催：公益財団法人モラロジー研究所道徳科学研究センター / 四国ブロック



# 道徳科学研究フォーラム in 四国

## テーマ 継承の危機にどう立ち向かうか

人口減少が問題になり、産業構造や社会構造が変わり、価値観の多様性が進むなかで、「令和」の時代に、私たちは何を継承し、いかに考え、行動していくべきなのか、一緒に考えましょう。

■ 9月22日（日）

10:30	開 会
10:40	第1講 小山 高正 客員教授 「少子高齢化した核家族社会で 家系をつなぐ意味」
11:20	質疑応答
10分	休 憩
11:45	第2講 冬月 律 主任研究員 「人口減少社会における 伝統宗教の現状と課題」
12:25	質疑応答
10分	昼 食
12:35	第3講 大野 正英 教授 「継承の原理としての 伝統の原理」
13:25	質疑応答
10分	休 憩
14:30	全体懇談
15:30	
15:40	閉 会

### 小山 高正 客員教授

#### 「少子高齢化した核家族社会で家系をつなぐ意味」

インターネットのネットワークで水平につながる現代人にとって、家系という縦のつながりはどういう意味があるのでしょうか。モラロジーの伝統の原理は、それに対して何を提示できるのかについて共に考えてみましょう。

### 冬月 律 主任研究員

#### 「人口減少社会における伝統宗教の現状と課題」

神社と寺院は、古くから国の形成の歩みと人々の暮らしと密接に関わってきた信仰施設です。しかし、人口減少社会に突入した今、将来は決して伝統宗教に有利とは言えない状況となってきました。日本の伝統宗教の現況と課題の中から、過疎地域の神社の調査事例を通して、今後神社に求められるものは何かを問うてみたいと思います。

### 大野 正英 教授

#### 「継承の原理としての伝統の原理」

家族、地域、国家、人類といった共同体の中で繰り返されてきた、過去から継承したものを未来へと受け継ぐという一連の営みの視点から、伝統の原理について捉え直してみたいと思います。未来世代への継承を、伝統への感謝報恩として捉える視点を提示します。

お問い合わせ・申込先

公益財団法人モラロジー研究所 四国出張所

## 令和元年度 道徳科学研究フォーラム in 四国 参加申込書 (FAX:0875-57-5115)

氏名	性	住 所	モラロジー事務所名
(フリガナ) _____	男 ・ 女	〒 _____ _____ TEL:    -    -                      FAX:    -    -	事務所  ※会員の方

お知らせいただいた個人情報は、本事業に関する利用目的の範囲内のみで利用します。参加証は1か月前くらいから郵送します。